

第 612 回 役員会(臨時) 議事概要

- 1 日 時 令和 6 年 2 月 21 日 (水) 9 時 30 分～9 時 59 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 構成員 8 名：
牛木学長，川端理事，坂本理事，澤村理事，末吉理事，染矢理事，
西田理事，(欠席：塚本理事)
陪席者 3 名：
富田特命理事，田代監事，逸見監事

4 審議事項

(1) 「次世代 A I 人材育成プログラム」への申請について

「次世代 A I 人材育成プログラム」への申請について、資料 1 に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。なお、提出までに修正が生じた場合については、学長に一任することとされた。

(主な意見及び質疑等)

- 大学全体の立ち位置は見えていると思うが、大学全体というのであれば、E L S I センターも活かした内容にしたほうが良いと思う。例えば、資料 3 ページ目の A I 関連の課題に向き合う人材の育成に関する記載の中に E L S I センターとも連携する旨を記載できると良いように思う。
- 本事業の募集要項には S D G s の文言が非常に多く記載されているが、本申請書内でのメンバーについては、女性が少ない印象を受け、ダイバーシティ的にも弱いように感じる。重要なポイントであると思うので、女性メンバーや外国人メンバーをもう少し加えるなどの工夫があった方が良いと思う。
- 審査の観点からすると、実績の面で、院生会がすごく重要であるように思う。自主的に大学院生がグルーピングしながらいろいろな情報交換や活動をしているということは、今後の取組みの内容には記載されているが、実績の内容にも含めてリマークしたほうが良いと思う。
- 資料 10 ページ目の図について、ポイントがはっきりと出るように、学外と学内の内容を整理しつつ、もう少し明るい印象の図になると良いと思う。
- 全体的に下線が多くなっているので、半分程度の量にしたほうが読みやすくなると思う。
- 図について、透過したレイヤーを最前面に配置していることにより、画面上で見るときは鮮明だが、印刷した際に暗くなってしまっていると思う。また、一番重要なポイントの色がどれなのかが分かりづらく、本資料では P h D リクルート室だけが重要であるように見えてしまっている。文字については、重要なキーワードの色を変えるなどして強調しておかないと、何と連携するのか、または、学内なのか学外なのかも分からなくなってしまう。審査員がどこを見るかと考える上

で、大事なポイントだと思うので、優先順位の高いものから目に留まるようにする工夫が必要だと思う。

- 運営チームについては、経営層なので仕方のない部分があるとは思いますが、育成チームのほうにはダイバーシティの要素があったほうが良いし、プログラム自体にもSDGsの要素が入っていた方が良いと思う。
- 文字のフォントやサイズ等に制約があるのであれば仕方ないかもしれないが、文字を変えたり、段落番号を振ることで各項目を目立たせることもできると思う。また、12 ページ目の図については、透過したレイヤー部分の意図は分かるものの、くすんで見えてしまっているなので、もう少し工夫して、ネガティブに見えないような表現にできると良いと思う。
- 文字については、基本は明朝体で記載しなければならないので、下線で強調している状況である。
- 小見出しや段落番号等を用いて、内容を拾い出しやすくする工夫は必要だと思う。実績についても、そういったことを取り入れつつ、重要な部分の一部に下線を入れるなど、メリハリをつけると審査員にも伝わりやすくなると思う。
- 資料3 ページ目の方針・ビジョンの内容について、冒頭の背景部分の内容が長くなってしまっているなので、そこをシンプルにして、インパクトのある内容にできると良いと思う。また、画像も解像度が低いように見えるので、改善をしたほうが良いと思う。